

# そばをとるのはイエスさま



フオコラーレ  
focolare.org/japan



ところがたびをしてた あるサマリアじんは、そばにきてそのひとをみてあわれにおもった。 (ルカ 10・33)



イエスさまはかみさまとひとをあいすることを、さいよにするたいせつなことだとおぼえています！かみさまのこゝろ、そのこゝろをきく、そしてであうすべてのひとにちゅういをはらってほなしをきき、たくさんのおこをせつめいし、ときこはびょうきをなおします。

ほかのひとにちゅういをはらうあいほ、なにかあたらしいものでみんながわかりません。たびたびおとなもわからなくなりしつもんします。あるひとりがききました。「でも、りんじんってだれですか。」

イエスはよきサマリアじんのたとえをいします。「りんじんはそばにいるひとです。そのひとにきづかずにおりすぎますか。あるいはきづいてなにかできることがあるか、かんがえてじゅうしますか。」



わたしはクリスティーナです。パパががっこうにむかえにきてくれました。とてもうれしかった。なぜってパパがわたしをこうえんにつれていってくれるのがわかってきたから。とてもおそかったの、いえにかえってごはんをたべるじかんがないので、おとうさんは、とりにくとジュースをもってきてくれた。

わたしはうれしくてすわってたべていた。でもちかくでもとてもまずいおんなのひとがみんなにたべものをくださいといっていたけど、だれもとまってあげていなかった。

ジェン4とは、キアラ・ルービックが創立したフオコラーレの子どもたちです。  
© PAFOM, フオコラーレ [www.focolare.org](http://www.focolare.org). イラストと文-ジェン4センター監修

わたしはそのひとがかわいそうになり、わたしのとりにくとジュースとすこしだけもってすおかけをあげた。たすけるのがうれしかった。イエスさまもよこんでいると、してすから、あゝそうするとき、とてもうれしくなる！